

自己評価表（最終）

愛媛県立伊予農業高等学校
学校番号（28）

（様式1）

<p>教育方針</p>	<p>徳・知・体の調和のとれた人格の完成を目指し、民主的な国家及び国際社会の有為な形成者となるにふさわしい人間力を培い、豊かな人間性や自ら学び自ら考えるなど生きる力を備えた心身ともに健全な生徒の育成を期する。</p>	<p>重点目標</p>	<p>自信と誇りを育む農業教育の推進 — 生徒が輝き 地域が輝き 未来が輝くために — 1 生徒、保護者、地域が三位一体となって特色ある学校づくりを目指します。 2 授業改善を通して、学習習慣の定着と基礎学力の向上、学びの進化を図ります。 3 基本的な生活習慣の確立及び規範意識の向上を図り、自律する力を育成します。 4 キャリア教育の充実により、社会人基礎力を身に付けさせ、地域の担い手を育成します。 5 人権尊重の視点に立ち、お互いを認め合う心を育成します。 6 あらゆる教育活動を通じて、健やかな心と体を育成します。</p>
-------------	--	-------------	---

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
保護者・地域との連携	PTA活動の活性化	・PTA役員の理事会への参加率80%以上 A:80%以上 B:79~70% C:69~60% D:59~50% E:49%以下	A	参加率は、80%であった。	・理事会を通して、保護者に生徒や学校の様子を少しでも多く知っていたできるようにする。 ・理事会の1か月前までには案内文書を送送するように努める。
	保護者・地域への情報発信の充実	・ホームページの閲覧者数1日平均800名以上 A:800名以上 B:799~700名 C:699~600名 D:599~500名 E:499名以下	A	・平日と週末、祝日によって閲覧数が大きく異なっていたが平均して1,400程度であった。	・学校行事の分かりやすい表示など、学校評価の意見を基に保護者や地域の方が見たいと思うような効果的な情報発信や魅力的なホームページ作りに取り組む。
学習指導	家庭学習の充実	・1日平均家庭学習時間 調査発表中120分以上 A:120分以上 B:119~96分 C:95~72分 D:71~60分 E:59分以下 ・1日平均家庭学習時間 調査中180分以上 A:180分以上 B:179~144分 C:143~108分 D:107~90分 E:89分以下	B	・調査発表中は117.4分（昨年度は118.4分） ・調査中は144.2分（昨年度は139.9分）	・1人1台端末の活用や課題提供の工夫などを行い、計画的に学習に取り組む姿勢の育成に努める。
	満足感・達成感を味わえる授業の展開	・1か年皆勤者数60%以上 A:60%以上 B:59~50% C:49~40% D:39~30% E:29%以下 ・タブレットなどICT機器を活用したアクティブ・ラーニング100% A:100% B:99~80% C:79~60% D:59~50% E:49%以下	C	・1か年皆勤者数154人（29.8%） ・ICT機器を活用したアクティブ・ラーニング77.5%（学校評価：教科の精選・創意工夫、分かる授業の推進3.1ポイントで評価）	・生徒指導課や特別活動課と連携し、自己肯定感を育む学校行事の工夫を行う。また、教育支援課と連携し、生徒に寄り添った指導を行うなど生徒の居場所づくりに努める。 ・1人1台端末などICT機器を活用したアクティブ・ラーニングを推奨し、分かる授業による学力向上を図るとともに、個に応じた指導の工夫・強化を進め、成績優秀者100名以上を目指す。
	成績優秀者の増加	・成績優秀者100人以上 A:100人以上 B:99~80人 C:79~60人 D:59~50人 E:49人以下	B	・成績優秀者93人（昨年度は99人）	

生徒指導	規範意識の向上と個に応じた指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 身だしなみ再指導生徒 A: 8%以下 B: 9~10% C: 11~12% D: 13~14% E: 15%以上 中途退学生徒 A: 0人 B: 1~3人 C: 4~6人 D: 7~10人 E: 11人以上 特別指導生徒 A: 0人 B: 1~3人 C: 4~6人 D: 7~10人 E: 11人以上 	A	<ul style="list-style-type: none"> 身だしなみ再指導生徒 6.8% 中途退学生徒 1人 特別指導生徒 0人 	<ul style="list-style-type: none"> 身だしなみ指導は3年5.6%、2年9.3%、1年5.6%と2年生の再始動率が高くなっているため、1・2年生を中心に呼びかけを強化する。 特別指導生徒を出さないために、規範意識をさらに高く持つことを意識して学校生活を遅らせる。今年度は全校で0人となっており、身だしなみ指導同様にさらに指導強化に取り組む。
	交通安全指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、教職員による街頭指導の実施 毎月、安全通学委員による交通安全啓発運動の実施 交通事故・違反0件 A: 0件 B: 1~3件 C: 4~6件 D: 7~10件 E: 11件以上 	B	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、教職員による街頭指導の実施については、コロナ禍以外すべて実施した。 毎月、安全通学委員による交通安全啓発運動の実施については、毎月ではないがほぼ実施した。 交通事故 18件 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者・警察署と連携し、毎月1回の街頭交通指導を継続する。 通学安全委員の活動・伊予警察署交通課と連携した事故マップの作成を来年度も継続する。 4月・9月など学期初めに事故が多発するため、呼びかけを強化する。また、事故に遭った時の対応についても徹底する。
進路指導	自己実現の達成	<ul style="list-style-type: none"> 第一希望校への入学100% A: 100% B: 99~80% C: 79~60% D: 59~50% E: 49%以下 第一希望職種への就職100% A: 100% B: 99~80% C: 79~60% D: 59~50% E: 49%以下 	B	<ul style="list-style-type: none"> 第一希望校への入学（合格） 94.0% 第一希望職種への就職（内定） 95.2% 	<ul style="list-style-type: none"> 第一希望校への入学（合格）100% 国立大学志望者に対する指導の充実（情報分析・共有含む） 第一希望職種への就職（内定）100% 学科と連携した職業適性理解の指導及び就職活動の指導
	生き方へのこだわり	<ul style="list-style-type: none"> 農業関連分野への進学者50%以上 A: 50%以上 B: 49~45% C: 44~35% D: 34~30% E: 29%以下 農業関連産業への就職率50%以上 A: 50%以上 B: 49~45% C: 44~35% D: 34~30% E: 29%以下 	A	<ul style="list-style-type: none"> 関連分野への進学者（合格） 55.6% 関連産業への就職率（内定） 57.1% 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の進路ガイダンスの工夫 各種検定試験、テストへの取組支援（教科との連携） 職場体験・見学の充実（学科との連携） 進路資料・データの共有
特別活動	部活動の活性化による体力・気力の充実と地域に根ざした人間の育成	<ul style="list-style-type: none"> 部活動加入率90%以上 A: 90%以上 B: 89~85% C: 84~80% D: 79~75% E: 74%以下 県総体出場部数8部以上 A: 8部以上 B: 7部 C: 6部 D: 5部 E: 4部以下 高文祭参加部数3部以上 A: 3部以上 B: ー C: 2部 D: 1部 E: 参加部無し 四国・全国大会出場者数35人以上 A: 35人以上 B: 34~30人 C: 29~25人 D: 24~15人 E: 14人以下 ヤングボランティア登録者数50人以上 A: 50人以上 B: 49~40人 C: 39~30人 D: 29~20人 E: 19人以下 	B	<ul style="list-style-type: none"> 部活動加入率 90.4% 県総体出場部数 14部 高文祭参加部数 2部 四国・全国大会出場者数 63名 ヤングボランティア登録者数 82名 <p>運動部の活動状況とボランティアの登録者数は上向き傾向で良い状況である。文化部は横ばいであるので今後の活動に期待したい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会と協同で部活動などの充実を図り、活発に活動できる生徒の育成を目指したい。
読書指導	図書館利用の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の年間読書冊数平均5冊以上 A: 5.0冊以上 B: 4.9~4.5冊 C: 4.4~4.0冊 D: 3.9~3.5冊 E: 3.4冊以下 	A	<ul style="list-style-type: none"> 年間読書冊数については、14.78冊で目標を達成した。 「図書館報」、「ライブラリー・ニュース」については、計画通り発行しており目標を達成した。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書委員を中心にして朝読書やビブリオバトルを活性化させ、より読書に対する意識付けを啓発したい。また、「図書館報」や「ライブラリー・ニュース」の発行を通じて、生徒が親しみやすい図書館の運営を心がけたい。

情報教育	<p>情報モラルの充実と情報モラル教育の徹底及びセキュリティの保守管理</p> <p>ホームページの適宜更新・管理</p>	<p>・学習用端末の円滑な導入と管理（自己責任以外での機器の故障 0件） <input checked="" type="radio"/>A:0件 E:1件以上</p> <p>・情報の機密性、完全性、可用性維持100% <input checked="" type="radio"/>A:100% B:99～80% C:79～60% D:59～50% E:49%以下</p> <p>・ホームページの管理・更新週平均5回以上 <input checked="" type="radio"/>A:5回以上 B:4回 C:3回 D:2回 E:1回以下</p>	<p>A</p> <p>・ウイルス感染や情報の漏えいなどの被害はなかった。</p> <p>・校内ネットワークの整備や点検、校務系ネットワークの管理について、必要に応じて随時対応することができた。</p> <p>・各課、各教科、各学科にホームページへの掲載を依頼した結果、週平均5回以上の更新ができた。</p>	<p>・校内で情報関係の研修会を定期的を実施し、情報モラル教育や必要な知識及び技術の向上を図りたい。</p> <p>・ホームページへの掲載が特定の教科や学科に集中している傾向があるので、特色ある授業や学校行事を掲載するよう依頼し、学校の魅力を地域や中学生などに幅広くアピールできるよう呼びかけたい。</p> <p>・ホームページ等でのイラスト等について、著作権の有無を確認しながら、教職員全体に適正な利用について研修等をしていきたい。</p>
厚生管理	<p>快適で心豊かな学校生活</p>	<p>・学校保健委員会の開催年間1回以上 <input checked="" type="radio"/>A:1回以上 E:0回</p> <p>・衛生委員会の開催年間12回以上 A:12回以上 B:11～10回 <input checked="" type="radio"/>C:9～8回 D:7～6回 E:5回以下</p> <p>・「保健だより」の発行年間12回以上 <input checked="" type="radio"/>A:12回以上 B:11～10回 C:9～8回 D:7～6回 E:5回以下</p>	<p>B</p> <p>・感染症対策に伴い、不定期での開催が多かった。</p> <p>・定期的に発行できた。</p> <p>・予定通り定期点検ができた。</p>	<p>・感染症対策に伴い、不定期的な対応が必要なケースが多く、必ずしも十分に快適な学校生活を保証できなかった点を踏まえ、今年度の反省に基づき、同様の対応を迫られることになっても適切で臨機応変な対応ができるよう準備をしておきたい。</p> <p>・トイレは改装がなされたにもかかわらず、清掃やその使用方法には不十分な点が多く、生徒はもちろん教職員を含めて意識の改革を促していきたい。</p>
人権・同和教育	<p>安心・安全な生活に対する意識の向上</p> <p>人権・同和教育の充実</p>	<p>・避難訓練の実施年3回以上 <input checked="" type="radio"/>A:3回以上 C:2回 E:1回以下</p> <p>・救命救急講習会の参加2年に1回以上 <input checked="" type="radio"/>A:1回以上 E:0回</p> <p>・学校安全委員会の開催年間2回以上 A:2回以上 C:1回 <input checked="" type="radio"/>D:0回</p> <p>・感染症防止に関するマニュアル、学校防災マニュアルの見直し</p>	<p>B</p> <p>・内容的にも充実していた。</p> <p>・時期と内容を変更して実施した。</p> <p>・感染症対策に伴い、不定期の実施となった。</p>	<p>・避難訓練は防災教育事業に伴い、例年以上に充実したものとなり、懸案事項であった実習地の訓練も実施できた。</p> <p>・今年度も予定通りに実施できず、日程や実施形態を変更せざるを得ない状況があったが、その都度、その時点でできる最大限の形で実施できたと思う。昨年度と今年度の実施状況をもとにより効果的な方策を検討していきたい。</p>
教育相談	<p>合理的配慮の充実 登校支援の充実 特別支援教育の充実</p>	<p>・中学校との引き継ぎ100%対応 <input checked="" type="radio"/>A:100% B:99～80% C:79～60% D:59～50% E:49%以下</p> <p>・生徒の実態把握と支援100% <input checked="" type="radio"/>A:100% B:99～80% C:79～60% D:59～50% E:49%以下</p>	<p>A</p> <p>・中学校との引き継ぎ 100% 年度当初に入学生徒についての聞き取りを行うとともに、折に触れ情報交換を行った。</p> <p>・不登校生徒の対応 100% 担任と情報交換を行い、必要であればスクールライフアドバイザーの相談に繋がった。（6名中5名カウンセリング）</p> <p>・生徒の実態把握と支援 100% 必要に応じて学級担任、教科担任と情報交換を行った。</p>	<p>・不登校生徒が増加している状況にあり、学級担任による生徒の実態把握を中心に、家庭、中学校、関係機関（各市の教育支援センター）との相談・連絡・連携の強化を図り、担任・学年主任・教育相談課とのチームで対応する組織作りと実践を継続して行っていく必要がある。</p>

農業教育	農業クラブ及び資格取得の充実	<ul style="list-style-type: none"> 農業クラブ各種発表県大会・各種競技会出場者全員入賞 A:100% B:99~80% C:79~60% D:59~50% E:49%以下 農業クラブ全国大会農業鑑定競技全部門入賞 A:100% B:99~80% C:79~60% D:59~50% E:49%以下 職業資格・検定の取得 年間合格者数延べ人数1000以上 A:1000名以上 B:999~900名 C:899~700名 D:699~600名 E:599名以下 	B	<ul style="list-style-type: none"> 農業クラブ各種発表県大会 3.1回 各種競技会出場者 全員入賞 7名(部門) 農業クラブ全国大会農業鑑定競技全部門入賞 5部門入賞 63% 職業資格・検定の取得 年間合格者数延べ人数 404名 	<ul style="list-style-type: none"> 校内研修による研究授業の確保や研修の機会が確保されており、来年度も同様の目標としたい(目標の変更も含め考えたい。) 目標が達成できておらず、同様の目標を設定したい。 目標が達成できておらず、同様の目標を設定するとともに指導方法の改善を行いたい。 同様の目標でよいと考えている。(昨年度も3学期に資格の取得が行われ目標に到達することが考えられるため)
	教職員の自己研修及び専門技術の向上	<ul style="list-style-type: none"> 施設見学及び各種研究会への参加3回以上 A:3回以上 B:2.5~3回 C:2~2.5回 D:2~1.5回 E:1.5回以下 各種コンテストへの参加年1回以上 A:1回以上 B:1~0.8回 C:0.8~0.6回 D:0.6~0.4回 E:0.4回以下 相互授業参観・研究授業への参加 A:3回以上 B:2~3回 C:1~2回 D:0~1回 E:0回 	B	<ul style="list-style-type: none"> 施設見学及び各種研究会への参加 1.8回 各種コンテストへの参加 0.9回 相互授業参観・研究授業への参加 3.1回以上 	<ul style="list-style-type: none"> 目標達成が難しい(コロナ感染症の影響)が、同様の目標を設定したい。 全員がコンテストに参加するのは目標設定が甘かったと感じる。学科目標に沿った実現可能な目標に変更したい。
	農業教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 農場及び特別教室の整備及び点検年3回以上 A:3回以上 B:2回以上 C:2回 E:1回以下 	B	<ul style="list-style-type: none"> 農場及び特別教室の整備及び点検 2.9回 	<ul style="list-style-type: none"> 同様の目標を設定し、施設設備の維持改善を図りたい。
	本校の活動や農産物の魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> 6学科の年間ホームページの更新 年50回以上 A:50回以上 B:49回~30回 C:29回~20回 D:19回~11回 E:10回以下 	A	<ul style="list-style-type: none"> 6学科の年間ホームページの更新 50回以上 	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的にホームページを更新することができた。しかし、ホームページのレイアウトに問題を感じる。アンケート結果からもホームページの有効活用ができていない。更新回数以外の目標を設定したい。
魅力化	魅力ある学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> さわやかな挨拶100% A:100% B:99~80% C:79~60% D:59~50% E:49%以下 志願者倍率1.00倍以上 A:1.00倍以上 B:0.99~0.80倍 C:0.79~0.60倍 D:0.59~0.50倍 E:0.49倍以下 	B	<ul style="list-style-type: none"> すれ違う生徒等多くの生徒がさわやかな挨拶が交わっている。 昨年に比べ約20%の志願者増となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶は教員からの積極的な声掛けも重要であるので継続して行いたい。 多くの部署で外部発信を充実していきたい。
	適切な業務時間	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の勤務時間を守り、休憩時間を確保する。 業務の効率化を図り、時間の有効活用を図る。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 担当者と事前確認し、会議終了時間の厳守に取り組むことができた。 グループウェア、Teams等の有効活用を通じて、業務改善に取り組むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 試験期間中の会議をできるだけ減らす方向で進める。 オンライン会議の試行などを設け、グループウェア、Teams等をさらに活用し、業務の効率化を進める。
業務改善	職場環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 健康講座や健康相談を定期的を実施し、教職員の疲労や心理的負担の軽減を図る。 	C	<ul style="list-style-type: none"> 管理職による面談を行い、教職員の健康状態を少しずつ把握した。 ストレスチェックの度合いが県立学校全体の平均よりやや高く、ストレスや疲労等の軽減が十分にできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 管理職の複数回の面談や教職員個々へのサポート体制をさらに充実させ、職員間の良好な人間関係の構築に努める。 健康講座や健康相談を定期的に行い、職員の健康チェックの確認や心理的ストレス等の解消に努める。

(A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった)